

## 第4学年C組 社会科学学習指導案

授業者 石井 史知  
研究協力者 外池 智, 加納 隆徳

### 1 単元名 調べよう、考えよう、わたしたちのくらしと安全

#### 2 子どもと単元

(1) 子どもについて  
第3学年の単元「はたらく人とわたしたちのくらし」において、生産や販売に関する仕事について学習してきた。本校は、通学区域が秋田市全域に広がっているため子どもたちが利用する店舗も様々であるが、主に自宅周辺にあるスーパーマーケットやコンビニエンスストア、自家用車で出かけていく大型商業施設などを利用しては共通しており、学校近辺のスーパーマーケットを見学し、それに先だって立てた予想を検証したり、学得了情報や知識をもとに「工夫」という視点から考察したりした。その際には、消費者の立場と関連して可視化できるように付箋を用いて「対話」を行い、販売者の工夫は消費者の「事象や人々の相互関係」について考える姿が見られた。一方で、自らを地域社会の一員としてとらえ、社会的な事象と結びつけて思考することや、構造的な見方、社会に参画する意識が十分に育っているとは言えない。また、資料から事実を読み取っていく力は育っているが、それを思考の材料とし、発言の根拠として活用する力は十分とは言えない。3年生では消費者の立場、販売者の立場の二つの視点から思考し、関連を考察していくことができた。4年生では、くらしを守る単元において、個人の立場（自助）、地域のコミュニティの立場（共助）、公の立場（公助）の三つの視点から思考することになる。現在、子どもたちは個別の現象は分かっている、自分たちとの関わりを通じた思考が十分とは言えない。

#### (2) 単元について

本単元は、地域社会における災害及び事故の防止について、消防署や警察署などの関係機関に従事する人々が、地域の人々と協力して災害や事故から人々の安全を守っていることや、関係の諸機関は相互に連携して緊急に対処する体制を取っていることを、見学、調査したり、関係資料を活用したりして、従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えをねらいとして、地域社会の安全を守るために自分たちができることを考察していく。はじめに地域社会における災害の防止を火災の面から取り上げ、消火活動が迅速に行われ、維持管理に努めていること、勤務時間の工夫などについて、学習していく。次に、事故や事件の防止のために、警察署や関係機関はたまたまを学習する。警察官がわたしたちの生活の安全を守るために、様々な活動をしていることを調べていく。そして、子どもの安全が関係機関と地域の人々の協力で行われていること、安全な町作りのために工夫していることなどを学習していく。安全なくらしを守るために、自分や家族の取組があり、地域の人々や共同体、そして消防署や警察署などの公的機関の働きがある。言わば、「自助・共助・公助」の考え方である。本単元は、火事や事件、事故に備えた日常の取組や、実際に起こったときの関係諸機関の連携など、社会的な事象がそれぞれ関連し合っていること、そのような見方でもとらえた社会的な事象をもとに、自分が社会にどう参画していくかといったことを思考することができる単元である。

#### (3) 指導について

本単元における子どもが獲得する新たな価値は、「自助・共助・公助の視点をもち、それぞれの立場が連携していることをとらえる」とこととする。そのために、「複数の社会的な事実を比較・検討し、因果関係や関連性を導く」という「見方・考え方」のもとに、調べたことと資料より読み取り、取ったことから「対話」を通して考える活動を行っていきたい。子どもたちは消防署の仕事については、本単元の学習前から消火活動を行っているということを知っている。また、実際に消防署を見学することで、消火の他に防火に対する取組や救急の仕事も行っていることを学習している。しかし、消防団については、存在は知っているが、具体的にどんな活動をしているかというは分かっている。そこで、学校近くの消防団の倉庫や、春や秋、年末の防火の呼びかけ、出初め式の新聞記事などの資料から、できるだけ生活経験と関連付けていききたい。そして、本時では「消防署があるのに、なぜ消防団もあるのか」という問いで揺さぶりをかけ、消防団の意義と共助の視点をとらえるようにしていきたい。課題に向かっている際は、資料や今まで学習した社会的な事実を比較し、共通点や類似点、相違点に着目させる。そのために、本時では消防署と消防団の数や団員数などを表にし、表したり、写真資料を並べたりするなどして、資料の提示の仕方を工夫したい。また、話し合いのときは、自分の考えの根拠を明らかにして話すように伝える。そのことで、考えに説得力をもたせ、グループで共有する過程を通して主観的な見方から客観的な見方への変容を促していきたい。

### 3 単元の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) 災害及び事故の防止の諸活動に関心をもち、施設や体制などを意欲的に見学したり調べたりしている。 〈ア-1・2〉
- (2) 安全なくらしを守るための関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力について考え、適切に表現することができる。 〈イ-4・16〉
- (3) 施設を見学・調査したり、資料を活用したりして、必要な情報を読み取り、調べたことを白地図や作品にまとめることができる。 〈ウ-6・32〉
- (4) 関係機関が地域の人々と協力して災害や事故の防止に努めていることや、関係の諸機関が相互に連携して緊急に対処する体制を取っていることを理解することができる。 〈ウ-31〉

4 単元の構想（総時数17時間）

時間	学習活動	教師の主な支援	評価（本校の資質・能力との関連）
1	(1) 安全な暮らしを支えるために、みんなで協力し、火や火事、地震などの災害に備えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ねらいで、火や火事、地震などの災害に備えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全な暮らしを支えるために、みんなで協力し、火や火事、地震などの災害に備えよう。</li> </ul>
安全な暮らしを守るためにだれがどのような働きをしているのだろうか。			
2	(2) 写真や動画を撮影し、疑問点を解決しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火事や地震などの災害に備えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真や動画を撮影し、疑問点を解決しよう。</li> </ul>
3・4・5	(3) 消防署の活動や、地域の防災活動について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防署の活動や、地域の防災活動について調べよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防署の活動や、地域の防災活動について調べよう。</li> </ul>
6	(4) 地域の防災活動や、学校の防災活動について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の防災活動や、学校の防災活動について調べよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の防災活動や、学校の防災活動について調べよう。</li> </ul>
7	(5) 写真や動画を撮影し、疑問点を解決しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真や動画を撮影し、疑問点を解決しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真や動画を撮影し、疑問点を解決しよう。</li> </ul>
8・9・10	(6) 交通や、地域の防災活動について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通や、地域の防災活動について調べよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通や、地域の防災活動について調べよう。</li> </ul>
11・12 本時	(9) 消防団の活動や、地域の防災活動について調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団の活動や、地域の防災活動について調べよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防団の活動や、地域の防災活動について調べよう。</li> </ul>
13	(10) 地域の安全を守るために、みんなで協力しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の安全を守るために、みんなで協力しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の安全を守るために、みんなで協力しよう。</li> </ul>
14	(11) 調べたことを新聞にまとめよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたことを新聞にまとめよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたことを新聞にまとめよう。</li> </ul>
15・16・17	(12) 安全な暮らしを守るために、みんなで協力しよう。 (13) 単元のまとめをしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全な暮らしを守るために、みんなで協力しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全な暮らしを守るために、みんなで協力しよう。</li> </ul>

5 本時の実際 本時 (12/17)

(1) ねらい

消防署と消防団を比較し、消防団の必要性を話し合う活動を通して、地域の安全は互いに協力し合ったり共に助け合ったりして守ることの大切さについて考え、説明することができる。

(2) 展開

○：「仲間との対話」を通して新たな価値を創造するための手立て

時間	学習活動	教師の支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価</span>
5分	① 前時の学習をふり返り、本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題に導くために、消防署の活動と、前時に消防団について学習したことをふり返る。</li> </ul>
なぜ、火事からくらしを守るために消防署があるのに、消防団があるのだろうか。		
5分	② 消防団がある理由について、自分の考えをもつ。 <b>【自分との対話】</b> (予想される子どもの反応) <ul style="list-style-type: none"> <li>消防署だけだと十分に消火できないからかな。その理由は何だろう。</li> <li>消防署ではやらないことをやっているのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの活性化のために、あらかじめ疑問点や自分の考えを書いておく。</li> <li>考えを書いておくことで、授業の終わりに自分の考えの変化や深まりを自覚できるようにする。</li> </ul>
27分	③ 消防団がある理由について、話し合う。グループ→全体 <b>【仲間との対話】</b> (予想される子どもの反応) <ul style="list-style-type: none"> <li>火事が消防署の近くだと早く現場に行けるけど、離れている場合は時間がかかる。その地域に消防団があると早く消火活動ができるのでは。</li> <li>消防団は消防署と比べるととても多い。地域ごとにある。それだけ自分たちに身近な活動ができると思う。</li> <li>防火の呼びかけや見回りは、消防団の人たちがやっている。自分たちのまちは、自分たちで守るという気持ちがあるからでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの際に根拠を示せるように、これまで授業の中で用いた写真・統計資料等を掲示しておく。</li> <li>視点を明確にしなが話し合うことができるように、消火の対処や防火への取組等を、消防署と消防団のそれぞれの面から考えるように助言する。</li> <li>○ 消防署と消防団を比較し、類似点や相違点をもとに考えるよう促す。</li> <li>グループでより有効な手段について考え、考えを共有できるように、グループごとにホワイトボードにまとめるようにする。</li> <li>理由を明確にしなが発表できるように、根拠となる資料等を活用しながら述べることを確かめる。</li> <li>消防団のよさや、互いに助け合って守ることの大切さについての気づきを黒板に整理することで、まとめにつなげる。</li> </ul>
8分	④ 本時の学習をふり返り、本時の学習をまとめる。 <b>【自分との対話】</b>	<p style="text-align: center;">地域の安全を互いに協力し助け合って守ることの大切さについて、消防署と消防団の比較から具体例をもとに考え、説明している。            (4-4・5) (ノート, 発言)</p>

(3) 「仲間との対話」を通して新たな価値を創造する子どもの姿

